



### 第3代 樋口謙太郎 教授

昭和23年(1948)10月～昭和46年(1971)3月

明治40年(1907)5月14日 福岡県三井郡小郡町にて出生  
昭和9年(1934)3月 九州大学医学部卒業  
昭和9年(1934)5月 九州帝国大学医学部副手(皮膚科)  
昭和11年(1936)8月 九州帝国大学医学部助手(皮膚科)  
昭和12年(1937)12月 九州帝国大学医学部講師(皮膚科)  
昭和13年(1938)8月 釜山府立病院科長(皮膚科)  
昭和17年(1942)2月 九州帝国大学助教授(皮膚科)  
昭和18年(1943)8月 ジャカルタ医科大学教授(皮膚科)  
昭和21年(1946)7月 大村国立病院医長(皮膚科)  
昭和22年(1947)12月 久留米医科大学教授(皮膚科)  
昭和23年(1948)10月 九州大学教授(皮膚科)  
昭和40年(1965)4月 九州大学医学部附属病院長(2期4年)  
昭和46年(1971)3月 定年退官  
昭和46年(1971)4月 九州大学名誉教授  
昭和47年(1972)4月 福岡大学医学部教授、福岡大学医学部長  
昭和48年(1973)12月 福岡大学病院長  
昭和53年(1978)3月 福岡大学定年退職  
昭和53年(1978)4月 福岡大学特任教授  
平成6年(1994)3月8日 逝去(86歳)

叙勲：勲二等瑞宝章(昭53)

受賞：日本皮膚科学会皆見賞(昭29) 西日本文化賞(昭36)



## 第三代教授

樋口謙太郎(ひぐち けんたろう)先生 昭和23(1948)年10月- 昭和46(1971)年3月



- 真菌症、梅毒、癩などの感染症、熱帯皮膚病、薬剤アレルギー、蕁麻疹、脱毛症、心身症、皮膚形成外科、温泉療法、X線治療。
- 約100名の学位取得者の大半が、これらのテーマで学位を取得している。
- 日本皮膚科学会西日本連合地方会(現、日本皮膚科学会西部支部学術大会)を創設。戦争で廃刊を余儀なくされていた『皮膚と泌尿』を昭和25年に復刊。
- 昭和29年皆見賞を、昭和36年に西日本文化賞を受賞。
- 九州大学退官後、福岡大学医学部長、病院長)に就任され、福岡大学医学部の基礎を築かれた。



患者さんによる皆見教授・樋口教授のプロフィール

